



多摩スポーツDAY

自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は12月2日、アリーナ立川立飛で開催されたBリーグ（ALVARK東京VS広島ドラゴンズフライ）の試合に合わせ、音楽演奏、装備品展示等の自衛隊の広報活動を行った。

当日は、陸上自衛隊第1音楽隊が、試合開始前のプライムタイムと試合途中のハーフタイムにバスケファンには馴染みの曲を演奏すると、観客達は手拍子やリズムに体を揺らしながら演奏を楽しみ、会場の熱気が一層高まったようだった。



屋外では、第1後方支援連隊が高機動車を展示し多くの人が興味津々で隊員に話しかけたり、試乗したりして楽しんだ。また、アルバルク東京のマスケットキャラクター「ルーク」とチアリーダーが装備品展示会場に訪れ、隊員との記念撮影を行うなど交流を深めた。カモフラージュ迷彩や装備品のタペストリーを掲示した屋内の自衛隊ブースでは、体験試着、ガラポン抽選、南極の石展示等を行い、自衛隊の魅力発信するとともに、今回、支援を頂いた東京都隊友会立川支部の皆様の、巧みな声かけと溢れる知識の披露でブースは終始活気があった。



全国矯正展で自衛隊ブースを出展

自衛隊東京地方協力本部港出張所（所長 濱田3陸佐）は、12月9日及び10日、東京国際フォーラムで実施された法務省主催の「第63回全国矯正展」へ参加し、第1普通科連隊と連携して自衛官募集広報活動を実施した。

本イベントは、法務省が主催する「社会を明るくする運動」の中央行事の一環として、矯正の取組等について紹介するとともに、刑務所作業製品の即売展示展を通じて、矯正行政に対する国民の理解を図る目的で実施された。2日間で約2万人を超える方が来場し、職場体験コーナーには法務省、警視庁及び防衛省・自衛隊の3機関がそれぞれブースを設置した。

自衛隊ブースでは、所長による来場者への自衛隊概要説明をはじめ、制服試着体験やVR体験を実施するとともに、パジェロ及び偵察用オートバイの装備品展示を行った。小さなお子様を連れている家族連れの方々が多く、制服を試着後、装備品と共に写真撮影をしたり、VR体験をしたりと、終始笑顔が溢れていた。

来場者の中には、自衛官を息子に持つ親御さんもあり、「自衛隊の行動に関して理解ができ、安心できた」という声や、その他の来場者からは「VRで実際に空挺降下を疑似体験できて良い思い出となった」などの感想が聞かれた。

港出張所は、引き続きあらゆるイベント等に積極的に参加し、自衛隊の魅力発信するとともに、防衛省・自衛隊の理解促進を図り、人材の確保に取り組んでいくとしている。

